

もっと学生に選ばれる大学へ
もっと社会に評価される大学へ
もっと経営力にすぐれた大学へ



大学評価データベースシステム

DB-Spiral

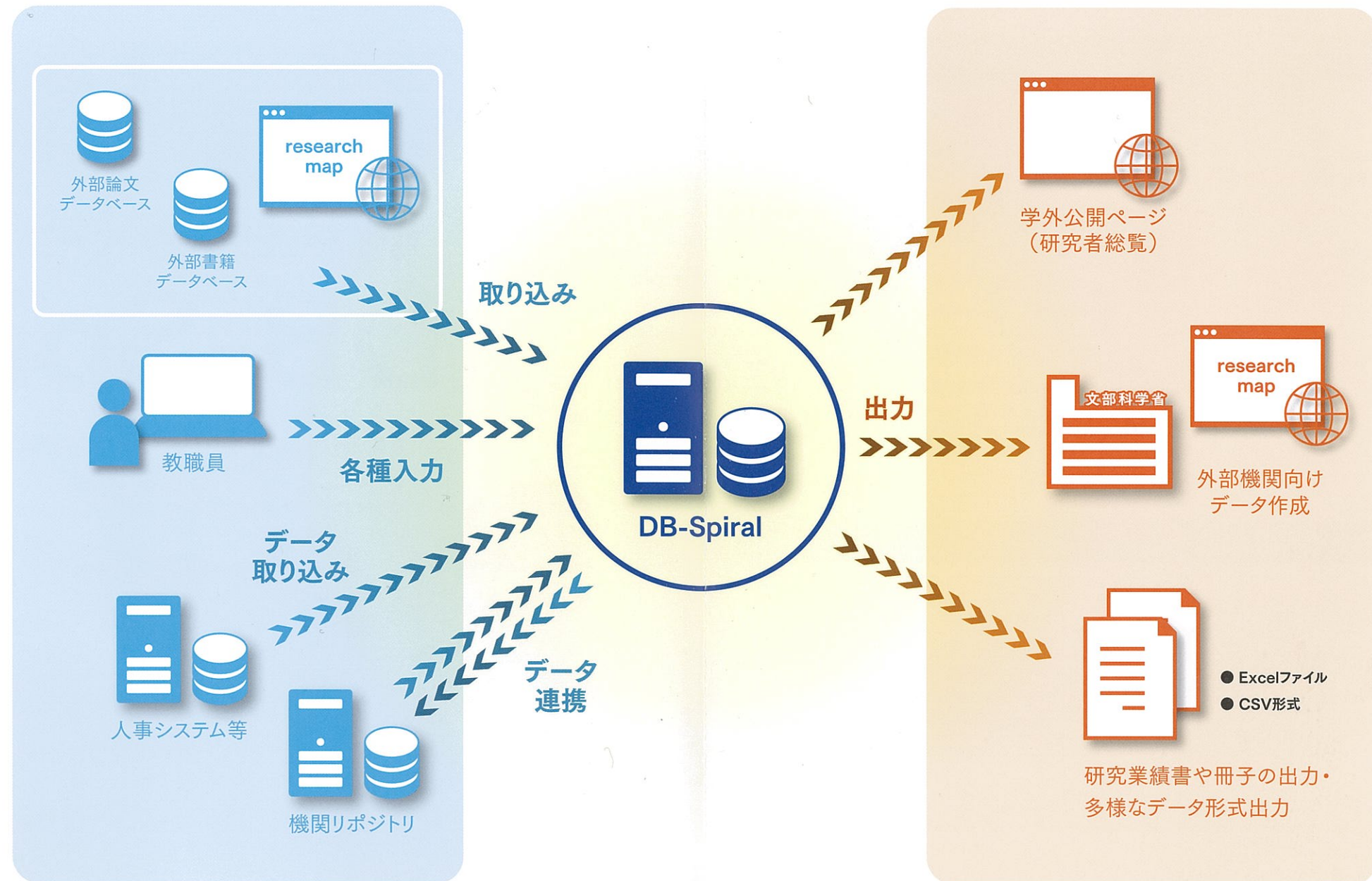
大学の価値向上をサポートする情報活用システム



全国50校以上の導入実績

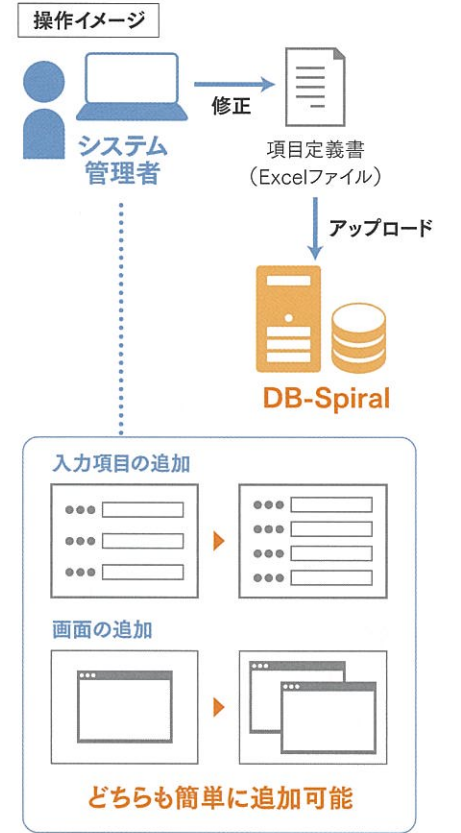
DB-Spiral 導入イメージ

DB-Spiralは、研究者や大学評価に関する基礎データの情報管理を中心としたシステムであり、研究者情報の管理や大学評価に係わる業務効率を向上させます。また、DB-Spiralで管理される情報は多岐にわたっており、これらの情報は蓄積されていくことにより、単なる「データ」ではなく大学にとって貴重な情報資産になると考えられます。DB-Spiralを業務効率化するためのシステムとして位置付けるだけでなく、登録された貴重な情報資産を有効活用する、価値向上のためのシステムとしてもぜひお役立てください。



注目! ノンプログラミングで 入力項目や画面を 簡単に追加可能

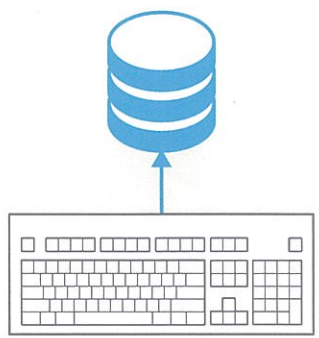
DB-Spiralは、データの項目などを定義する項目定義書(Excelファイル)に設定事項を反映し、そのファイルを取り込むことによって、プログラムを修正することなく入力項目や画面を自動生成することができます。



POINT 1 簡単入力

DB-Spiralは、多彩な入力方式を採用し、研究者(教職員)の入力負荷の軽減を行います。

- 外部データベースの活用**
researchmapをはじめとした外部データベースから業績に関するデータをインポートする事が可能です。
- 用途に応じた登録方法**
Web画面からの登録以外にExcelでの一括登録が可能です。
- 学内システムとの連携**
人事システムからのデータ取込や機関リポジトリ等との連携などカスタマイズで対応が可能です。



POINT 2 情報の活用

DB-Spiralで一元管理された情報から様々な形での利用ができ、業務の効率化を推進します。

- 公開データの作成**
登録された情報は、毎日のバッチ処理で研究者総覧として外部に公開されます。
- 外部機関向けのデータ作成**
文科省や大学基準協会向けの提出資料やresearchmapへのデータ交換システム用のデータ作成が行えます。
- 多様なデータ出力**
研究業績書や冊子の出力をはじめ、登録された情報はExcelファイルやCSV形式でのデータ出力が可能であり、学内においてデータの利活用が推進されます。
- データ活用**
出力した情報から学内でのデータ分析などに活用することも可能です。



POINT 3 豊富な導入実績

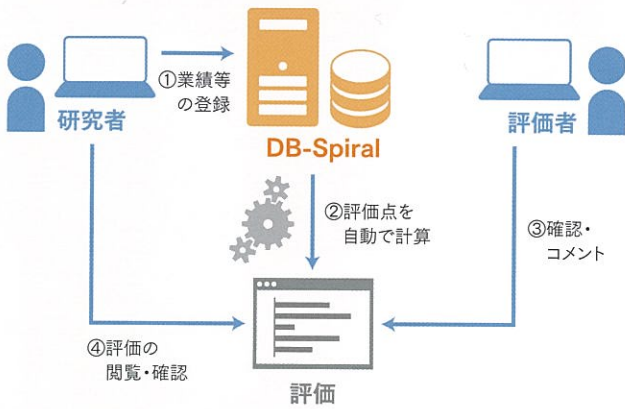
DB-Spiralは大学から生まれたシステムで、その後も多くの大学で利用され、進化しています。

- 充実した運用サポート**
システム導入後の運用サポートは、多くの経験を積んだ専門スタッフが担当しています。関連する外部機関での仕様変更などにも適宜対応致します。
- 大学のニーズに応じた機能開発**
各大学のニーズに応じた対応を行う中で製品の機能開発を行い、提供致します。
- 大学間の連携協力**
弊社イベント等を通じて、大学間同士の連携にご協力致します。(2012年より大学関係者向けのイベントを毎年開催しております)



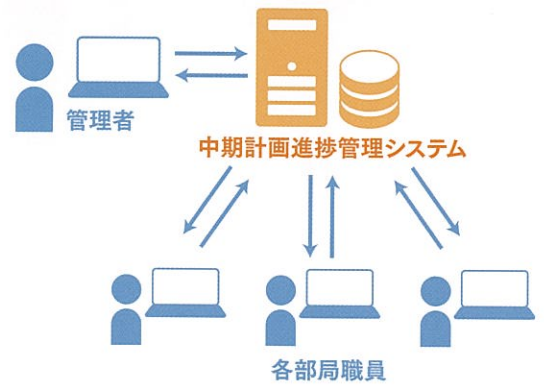
カスタマイズ事例

教員評価カスタマイズ



- 教員評価機能として登録されている業績を元に、評価点を自動で計算
- 部局別・役職別(など)の集計や評価点の分布図をグラフで確認

中期計画進捗管理カスタマイズ



- 中期目標等の大学内での進捗管理を実施
- Webシステム上で達成状況・活動状況の「見える化」が可能
- データの登録状態(編集中・完了)を管理でき、取りまとめ作業の負担を軽減

その他

分類	概要
認証	LDAP(統合認証)による認証・シングルサインオン
	学認による認証・シングルサインオン
人事連携	人事システムのデータを用いた自動ユーザ登録・手動ユーザ登録
機関リポジトリ連携	DSpaceとの連携(データ取り込み/URLリンク)
	JAIRO Cloudとの連携(データ取り込み/URLリンク)

分類	概要
論文インポート機能拡張	医中誌からのインポート
	CiNiiからのインポート
教員評価機能	Webベースでの教員業績評価
	Excelベースでの教員業績評価
画面デザイン変更	学外公開ページのデザイン変更

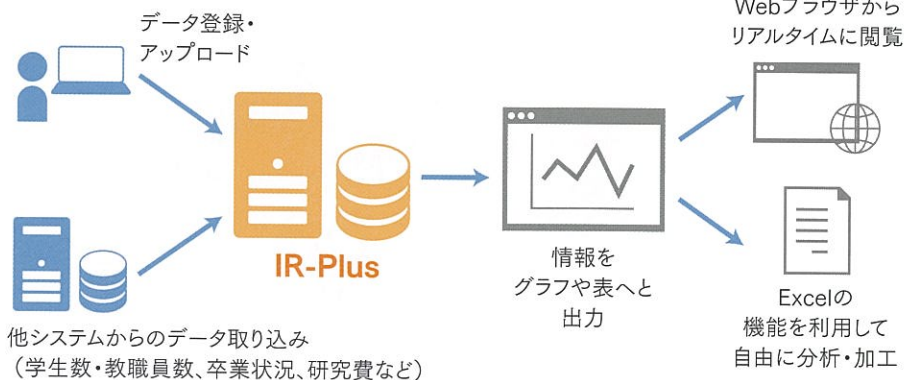
関連ソリューション

IR-Plus

Institutional Research

学内に存在する様々なデータを管理、分析し、それらの結果を踏まえて次の戦略や施策を策定

IR-Plusでは、これらの情報を集約・管理するサーバからデータを抽出し、「数値」「データ」という個々の情報をグラフや表といった可視化した情報へと出力



DB-Spiralは東北大学様において開発したシステムを弊社がパッケージとして製品化・販売しているシステムです(注)。そのため、実際の大学業務での経験・ノウハウをベースにした様々な機能をご提供できると考えております。

(注)この製品の製造・販売における責任はSRA東北にあります。製品に関する一切のご連絡等については弊社窓口までお願い致します。

お問い合わせ先



株式会社 **SRA東北**

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目1番2号 アーバンネット定禅寺ビル5階
 TEL:022-221-9061 FAX:022-268-7409
 E-mail:uv-ev@sra-tohoku.co.jp http://www.sra-tohoku.co.jp/DB-Spiral/

大学情報活用フォーラムのご案内

2015年6月吉日

株式会社S R A東北

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度弊社では、下記の日程にて「大学情報活用フォーラム」を開催することになりました。

「大学情報活用フォーラム」では、講師をお招きして各大学・機関における情報活用の事例等を紹介すると共に、参加者皆さまの情報交換の場としてお役立ていただければと考えております。

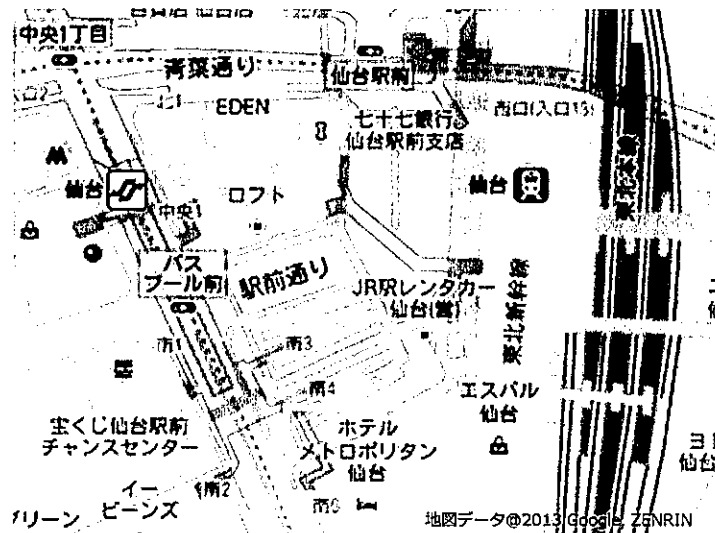
ご多忙中とは存じますが下記開催概要をご参照の上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

【記】

開催概要

- 開催日時 2015年7月24日(金) 13:30～ (受付開始:13:00～)
- 会場 ホテルメトロポリタン仙台
第1部 講演会 21階『スカイホール銀河』
第2部 交流会・情報交換会 4階『千代西』
※第1部と第2部で会場が異なりますのでご注意ください。
- 参加費 第2部 交流会・情報交換会へ参加されるお客様については、お一人様2,000円の会費を当日会場にて申し受けます。
- アクセス



ホテルメトロポリタン仙台: 〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1番1号

TEL 022-268-2525 FAX 022-268-2521

J R仙台駅2階正面出口(西口)から歩道橋(ペDESTロリアンデッキ)に出て左方向へお進みください。会場へはホテルメトロポリタン仙台2階入口から入り、エレベータで21階までお越しください。

※プログラム内容については裏面をご覧ください。

プログラム

受付開始 (13:00-)

第1部 講演会 (13:30-17:30)

(1) 山形大学EM部のIRシステムとIR情報の活用について

講演者：山形大学 エンrollment・マネジメント部 教授 福島 真司 様

山形大学エンrollment・マネジメント (EM) 部では、平成25年度概算要求事業 (3年間) 「戦略的意思決定のための全学統合型IRシステム構築による大学教育マネジメント・サイクルの持続的発展－教育・研究・社会貢献及び財務データを統合した内部評価システムによる教育の質の向上－」の採択を受けております。

本セッションでは、本採択事業において、これまでの山形大学EM部が構築した主に学生情報に係わるシステムの考え方やIR事業の展開や今後めざすところについて紹介します。

(2) 独自文化を持った大学における全学務システム化への道のり

～国際教養大学のワークスタイル変革への取り組み～

講演者：国際教養大学 ICT推進室 推進監 渡部 昭 様、 渋谷 竜史 様

2012年、開学以来8年が経過し、設立当時のシステムの陳腐化や、各課/室の独自による事務作業の結果、システムの統一が出来なくなり、各課/室で事務作業が開学時よりの事務システム、Excel、Filemaker等、様々な手段で事務作業をしている状態でありました。

2015年4月、新大学事務システム (ATOMS) が本稼動し、事務作業の効率化や学生サービスを向上させる第一歩を踏み出したところであり、大学業務におけるワークスタイル改革と今後の取り組みについて紹介します。

(3) 関西学院大学 研究者データベースの構築および運用事例のご紹介

講演者：関西学院大学 学長室 課長補佐 大野 健一郎 様、 研究推進社会連携機構 白坂 建 様

関西学院大学では、これまで研究業績の蓄積と学外への情報発信を担ってきた「研究業績データベース」のあり方の見直しを行い、新たなデータベースへの移行を実施しました。

新データベースの構築にあたり、外部データベースとの連携機能の強化や研究者によるデータの入力負荷軽減を考慮したデータベース構築を目指して導入いたしました。

本セッションでは新データベース構築までの経緯と今後の新たな展開について紹介します。

(4) 東京医科歯科大学における研究管理支援システムの構築事例と今後の取り組みについて

講演者：東京医科歯科大学 研究・産学連携推進機構 事務部 事務長補佐 荒川 徹 様

東京医科歯科大学では、URA室設置に伴い研究支援に必要な情報を一元的に管理し、研究戦略の企画、立案、分析、外部資金獲得業務の支援、経費管理を適正に確保することを目的に、「研究管理支援システム」を構築しました。これまでの運用では、各外部資金情報を個別にすべて手作業で管理しており、情報の更新や必要情報の抽出など、事務担当者に多大な負担が強いられていました。

「研究管理支援システム」の構築にあたっては、事務担当者の負担を軽減するとともに、各外部資金情報の二次利用や研究者ごとに横断的に検索できるようにすることもポイントになっています。

本セッションでは、「研究管理支援システム」の構築事例、今後の取り組みについて紹介します。

(5) SRA 東北ソリューション紹介

講演者：株式会社 SRA 東北

情報システムを導入する目的が「単なるデータの管理」から「具体的な成果・改善の実現」にシフトしていく中で、大学におけるシステムが解決すべき課題は、「第3期中期目標・中期計画」「大学版IR」「研究支援」など多様化しており、DB-Spiralもまた、それらをつなぐハブのような役割を担うことが求められています。

本セッションでは、大学システムに対するSRA東北の取り組みと今後の展望についてお話しします。

第2部 交流会・情報交換会 (17:40-)

お申込み方法とお問合せ先

以下の「大学情報活用フォーラム 申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込み先 FAX、E-mail アドレスまでお送りください。お申込みにあたりご不明な点がございましたら事務局までお問合せください。

※お申込み期限：2015年7月10日（金）

申込み及びお問合せ先（事務局）	株式会社 S R A 東北 営業戦略部	相澤／川住／大槻
TEL：022-221-9061 FAX：022-268-7409 E-mail：uv-ev@sra-tohoku.co.jp		

大学情報活用フォーラム 申込書

FAX：022-268-7409 E-mail：uv-ev@sra-tohoku.co.jp

大学情報活用フォーラムへ参加をご希望のお客様は、参加申込内容を下記フォームにご記入の上、上記宛先までお送りください。

※参加希望者が3名以上になる場合は、本紙をコピーしてご利用ください。

申込日 年 月 日

機関名：

参加希望者 1	部署名	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	
	参加対象	※参加をご希望する内容にチェックをご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 第 1 部 講演会 <input type="checkbox"/> 第 2 部 交流会・情報交換会
参加希望者 2	部署名	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	
	参加対象	※参加をご希望する内容にチェックをご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 第 1 部 講演会 <input type="checkbox"/> 第 2 部 交流会・情報交換会
参加希望者 3	部署名	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	
	参加対象	※参加をご希望する内容にチェックをご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 第 1 部 講演会 <input type="checkbox"/> 第 2 部 交流会・情報交換会

お客様の個人情報の取扱いについて：

ご記入頂いた個人情報については、当フォーラムに関する連絡、同様のセミナー開催時の案内、弊社製品の案内のみに使用致します。